

交付申請時と同じ形式で記入してください。地域材の使用量、使用割合は、添付した納品書、木材の証明書を元に計算してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・交付申請時と同じ形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

様式13(長寿命)

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量実績表【補助事業者記入用】

記入例 1

対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名

#REF!

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「」で囲み、売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

地域材を利用する部材の使用量実績表

共通ルールで定めた使用部位	材積				左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B)				共通ルールで定めた使用割合、使用量			
	対象部位毎の使用量の合計(A)				単位				単位			
柱	3	6	1	m3	3	2	6	m3				
梁・桁	6	4	8	m3	3	6	6	m3				
桁	1	2	4	m3	0	0	0	m3				
				m3				m3				
	1	1	3	m3	6	9	2	m3				
対象木材の使用割合 (B/A×100)									6	1	%	主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に地域材を使用
合計												
対象木材の使用割合 (B/A×100)												
仕上材					1	3	5	m2				仕上材に地域材を10m2以上使用
合計					1	3	5	m2				
対象木材の使用割合 (B/A×100)												

共通ルールの内容

主要構造材(柱、梁桁、土台)の過半にグループ指定

共通ルールに応じて単位を記入してください。

共通ルールを記入してください。

小数点はこの位置。

小数点はこの位置。

記入例 2

共通ルールの内容

仕上材に地域材を10m2以上使用する。

共通ルールに応じて単位を記入してください。

使用割合を共通ルールで定めていない場合は記入不要です。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。また、交付申請時と同じ形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容にいうよう集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦桁、上下桁	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。

※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合**は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、**使用量を定めている場合**は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。

在来工法等

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。【H27】住宅 地域型住宅グリーン化事業 地域材使用量実績表

1枚に記載できない場合は、この様子を複数枚作成してください。

使用する様子は正しいですか。
【H27】住宅と記載されている様式を使用してください。

交付申請時と同じ形式で記入してください。地域材の使用量、使用割合は、添付した納品書、木材の証明書を元に計算してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・交付申請時と同じ形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

様式13(長寿命)

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅について報告する場合はシートを追加して作成してください。

地域材使用量実績表【補助事業者記入用】

記入例 3

・対象住宅の建築主(売買契約による場合は買主)

建築主氏名 #REF!

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」を、売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください。

共通ルールの内容

母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用する。

・地域材を利用する部材の使用量実績表

共通ルールで定めた 使用部位	材積				左欄のうち「地域材」に 該当する使用量(B)				共通ルールで定めた使用割合、使用量
	対象部位毎の使用量の 合計(A)	単位			単位				
母屋	1 0 2	m3			1 0 2	m3			
棟木	0 3 4	m3			0 3 4	m3			
垂木	1 2 4	m3			1 2 4	m3			
間柱	1 4 8	m3			1 4 8	m3			
合計	4 1 6	m3			4 1 6	m3			
対象木材の使用割合 (B/A×100)					1 0 0	%			母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用
合計									
対象木材の使用割合 (B/A×100)									
構造材(柱・梁・桁・土台)					9 8 6	m3			
2次部材 (母屋・棟木・大引・束)					4 3 5	m3			
羽柄材(根太・垂木)					0 5 0	m3			
仕上材(床材)					3 3 1	m3			
合計					1 8 0 2	m3			延べ床面積 123.32㎡ 123.32㎡×0.12㎡/㎡=14.79㎡<18.02㎡ ∴OK
対象木材の使用割合 (B/A×100)									

共通ルールでは部位を指定していないが、対象とした部位を記入してください。

記入例 4

共通ルールの内容

延べ床面積1m2あたり0.12m3以上の地域材を使用する。

共通ルールの適格が確認できるように計算式を記入してください。

- (注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるように記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。また、交付申請時と同じ形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください)
- (注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。
- (注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。
- (注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦桁、上下桁	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。

※2 大引は含まれません。

- (注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。
- (注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、**使用割合を定めている場合**は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。
- (注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、**使用量を定めている場合**は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。
- (注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の**単位を記入**してください。
- (注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 【H27】住宅 地域型住宅グリーン化事業 地域材使用量実績表

在来工法等

1枚に記載できない場合は、この様子を複数枚作成してください。

使用する様子は正しいですか。
【H27】住宅と記載されている様式を使用してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・交付申請時と同じ形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

記入例 5

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入ください

柱には杉の地域材を100%使用し、梁、桁には地域材を50%以上、土台と合わせて全体で70%以上の地域材を使用する。

共通ルールを記入してください。

※2 大引は含まれません。

在来工法等

【H27】住宅 地域型住宅グリーン化事業 地域材使用量実績表

使用する様式は正しいですか。
【H27】住宅と記載されている
様式を使用してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・交付申請時と同じ形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

記入例 7

主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上に地域材を使用する。主要構造材と合わせて構造材全体で80%以上に地域材を使用する。

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」
売買契約による住宅の場合は「買主の氏名」を記入してください

後段の共通ルールを記入してください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

使用する様式は正しいですか。
【H27】住宅と記載されている
様式を使用してください。